

あい愛バスデマンド運行実証実験（案）について

1 現状

福祉バスを前身とし平成12年から運行開始したあい愛バスは、鉄道とともに市内公共交通の基幹であり、高齢者をはじめとする自家用車を持たない人たちの移動手段としてご利用いただいています。現在市内全域11路線を運行しており平成22年度利用者数は23,419人です。

2 課題とデマンド交通導入の目的

これまで、路線の見直しや利用促進事業により安定した利用者数で運営を続けてきましたが、運行日数や便数が少なくご利用される方にとって不便な面があり、また慢性的な不採算路線であることから運営補助により運行が成り立っています。今後、耐用年数切れによる車両更新や県からの運行補助の削減により市の支出は増加していくことから新交通システムの導入を視野に入れた抜本的な改革が必要です。

こうした状況の中、タクシー車両を使用したデマンド運行は便数の増加や目的地までの時間短縮など利便性の向上が見込めること、不要な運行をする必要が無いことから経費削減が見込めること等のメリットがあり導入に向けた検討を続けてきました。

3 デマンド運行の概要

デマンド運行は、基本となる運行時刻（1日6便程度）に電話等で事前に予約をしていただき、予約のあった便のみ運行します。運行エリア内の停留所間を移動します。

(1) 車両

セダン型タクシー車両

(2) 運行日

月曜日から金曜日までの5日間

土日祝日及び年末年始（12月29日から1月3日）は運休とする

(3) 運行回数

1日6便の運行（基本便数）

(4) 運用車両数

1便当たり3台までとする

(5) 乗車料金

1回の利用につき300円（回数券含）

(6) 回数券

紙による回数券を発行し、あい愛バスと併用する

(7) 割引（1回の利用につき）

未就学児 - 無料、小中学生 - 150円

第1種障がい者及びその介護者1名 - 150円

第2種障がい者 - 150円

(8) 予約方法

専用回線による受付、車両利用時に口頭による予約

ファックスによる受付（聴覚障がい者対応）

前日から30分前まで

(9) 乗車場所

現行あい愛バス市街地循環線古井A及びB停留所（36カ所）に加え10カ所程度
新設する

(10) 時刻表

現行あい愛バス停留所に別途表示する

(11) 運行範囲

古井地区（現行あい愛バス市街地循環線古井A及びBの運行範囲を基本とする）
それに伴いあい愛バス市街地循環線古井A及びBは休止します

(12) 試行期間

平成24年5月14日（月）から平成24年8月13日まで（仮）を試行期間とし、
以後の取扱いは美濃加茂市地域公共交通会議で効果の検証を行い決定する

(13) 重要事項の決定

運行形態、運行回数、運行時間及び乗車料金等の重要事項は美濃加茂市地域公
共交通会議において決定する

4 目指す姿

第5次総合計画の政策である「便利に移動できるしくみ」を実現するため既存のバス
とデマンド運行を効果的に組み合わせ、利便性の向上と効率的運行を目指します。

あい愛バスを富加町への乗入れることにより、鉄道とともに圏域の交通ネットワーク
の強化を図ります。

5 導入までの過程

運行主体となるタクシー事業者と具体的な運行地区や運行方法について協議した
内容で実証実験（概ね3ヶ月程度）を実施し利用者アンケート調査、利用実績、経費
等を住民代表、行政、交通事業者などからなる美濃加茂市地域公共交通会議で検証の
うえ正式導入の可否を決定します。